



栃木県森林組合連合会のSDGs宣言！

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます（外務省サイトより）。

私たち栃木県森林組合連合会では、以下のような事業・取組を通じて、SDGsの達成を目指しています。

○循環型林業を通じた自然資源の保全

「伐って、使って、植える」循環を維持することで、森林の二酸化炭素の吸収や土砂災害の発生抑止など公益的機能の発揮を実現しています。



○森林組合、行政とのパートナーシップによる森林の持続可能性の確保

県森連は県と連携して、森林組合や市町の地域森林管理体制に必要な取組を支援していきます。

男女問わず働きやすく、オープンで風通しの良いコミュニケーションを有する組織づくりのために、人材育成や組織体制強化の研修会・就業相談会を積極的に開催していきます。



○合法伐採木材の流通

県森連では、COC認証を取得しており、認証木材の流通に貢献しています。持続可能に管理された森林から伐採された木材を選ぶ機会の提供を行っていきます。

